



校長あいさつ

行橋市立泉中学校は、昭和 22 年 4 月戦後の学制改革により「稗田」・「今川」・「泉」三カ村組合立の学校として、今川小学校の一部を借りて授業を開始したのが始まりです。

その後、同 23 年 11 月には泉村に校舎を建築し、5 学級で「泉中学校」として開校しました。同 29 年 10 月行橋市の市政施行により、「行橋市立泉中学校」と校名を変更。以来、現在に至るまで、9700 名余の卒業生がこの学び舎を巣立っていきました。この間、「文武両道」生徒一人ひとりが学習や運動に励み、様々な分野で数多くの業績を残してきた伝統ある中学校です。

校区は、行橋市の南部に位置し、古くからの農地と新しく整備された住宅地が混在しています。校区の西側には京都平野を潤す「今川」が、東部には「祓川」が流れ、南側には古墳や桜の名所で有名な「八景山」を望む、自然や文化が豊かな所です。

また、校区には「泉安心のまちづくり協議会」など小・中学生を見守り支援する組織があり、地域の方々が学校に寄せる関心や期待も高いものがあります。

学校教育目標には「創造的な知性と豊かな感性をもち、心身ともに逞しい生徒の育成」を掲げ、令和元年度より「深い学びを創り出す生徒の育成 ～教科横断的な『伝え合い』指導を通して～」を研究主題として、教職員一同「協働」の下、教育活動に取り組んでいます。

加えて、泉中学校では、行橋市が進める ICT を活用した教育活動にも積極的に取り組み、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて新しい授業づくりに挑戦をしています。

生徒は、真面目で礼儀正しく、優しさや思いやりの心をもった生徒たちです。また、たくさんの部活動があり、入部率も高く活気ある学校です。

豊かな自然と地域の絆に恵まれたこの泉中学校で、これからも教育活動を一層充実させていきたいと思えます。

令和 3 年 5 月 吉日
校長 藤田 弘美

